

信濃川水系長野圏域河川整備計画(変更原案)に対して住民から頂いた意見及び回答

番号	住民の皆様から頂いたご意見	回答	(案)の 該当頁
1	<p>千曲川沿いに住居、畑を持つ農家である。近年異常気象による災害が日本中に起こっており、100年に一度という豪雨が再々起こりもはや想定外などと言ってはられないのが現状である。長沼地区もここ数年間に何回も堤外の畑の浸水に見舞われ作物をやむなく廃棄せざるを得ないという状況にある。</p> <p>何年もかけて堤防の拡幅と桜堤をやって頂いているが、所々拡幅できない箇所があり不安である。</p> <p>川底の土砂を取り除くとか、もう少し高くするとか。立ヶ花あたりのペットボトル形状の首の部分により、一気に水が出たときは流れなくなり下流から川上に水が上がって来てしまう。その部分の川幅を広げて流れを確保する必要があると思う。また、遊水池を作るとか地下に貯水ドームを建設するとか一度に水を流さない方法を至急取って頂きたい。</p> <p>周辺には空き畑や放置田畑が沢山出てきているので、それらを利用する事も可能だと思う。早急に治水を進めて頂きたい。</p>	<p>信濃川水系長野圏域河川整備計画は、長野圏域内の県知事が管理する一級河川を対象とした河川に関する計画です。</p> <p>ご意見を頂いた千曲川については、国土交通大臣が管理する区間となっておりますので国土交通省へご意見の内容をお伝えします。</p>	
2	<p>去年も、大きな豪雨災害が岡山県で起きてしまった。「西日本豪雨災害」では、死者と安否不明者合わせて、200名弱になってしまい、大変痛ましい悲しい大災害である。最近、線状降雨帯とかいうゲリラ豪雨帯のような集中豪雨があちこちに降って大変不安である。長野市で作成したハザードマップでは、堤防の高さの5メートル以上の水害が想定され、私が住んでいる木造住宅の2階部分まで濁流が流入することになっている。今日では堤防の決壊から大きな災害が起こる。県内では、どこでも起こる。</p> <p>行政は、人命尊重を最優先にするならば、絶対に必要な道具は、救命用の手漕ぎの小舟を準備、設置してほしい。高齢者や幼児・足腰の弱い老・病人などを安全な場所に避難することが、人命尊重である。助かる人命も、濁流に飲まれる前に、近所の健康な人々によって、相互互助によって、救命できると思う。是非、私の住んでいる水害常習地帯にも水防倉庫には、救命用の小舟の準備をお願いしたい。</p> <p>南北に長い長野県を線状降雨帯とかいうゲリラ豪雨のようなひどい雨があちこちに降れば、行政は、本当に大洪水になって、多くの人命犠牲が失われてから、取り組むのでは、遅すぎる。「災害は忘れた頃にやってくる」と、言われてる。次年度の予算要求には、国・県や市町村は、最優先に水防倉庫には、救命用の小舟の準備をお願いしたい。是非とも、県下の防災・減災に尽力をお願いしたい。</p>	<p>水防倉庫は、水防管理者である市町村等が設置し水防活動に必要な資機材を備蓄しております。当該水防倉庫は長野市で管理しておりますので、いただいたご意見については長野市へお伝えします。</p>	